

売れるiPhoneアプリ 競合戦略30選



■はじめに

アプリを開発する時に初心者から始める場合、費用や手順の面からAndroidアプリから開発をお勧めしています。

Androidアプリである程度のダウンロード見込みや収益が確保できるようになってからiPhoneアプリの着手に進んでも遅くはありません。

またアップル製品を持っていないと登録時の2ファクタ認証、アプリファイルのアップロード、電話番号認証などが出来ない場合がある為、端末を準備する費用も掛かります。

そしてAndroidアプリとは別の戦略が必要となる為、しっかりと準備を行って開発していくことが重要となります。

今回は開発するに当たって注意しておきたいポイント、コツなどをまとめました。

この項目を参考にすることで、開発後にチェックする事でよりクオリティの高いiPhoneアプリが開発できるようになります。

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を購入した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

損害賠償：

甲が本契約の禁止事項に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金五拾萬円を請求させていただきますのであらかじめご注意ください。

今回はiPhoneアプリ開発者が実践する内容に加え、
初心者でも出来る施策やポイント、
ノーコード・テンプレートでも使えるもの、
実際に効果のあった内容をお話ししていきます。

テーマ（競合調査・リサーチ）

- 1) まずは出したいアプリの競合調査を行うのが大事
アプリに使うキーワードで検索し出てくるアプリを調査する
- 2) 競合で自分でも作れそうなアプリを重点的に見る
自分のライバルアプリの特徴を少し超えるものを作ろう
- 3) 競合のアプリに書かれているレビューをよく読む
レビューに書いてあることは良い事からクレームあるので大変参考になる要素、参考にし改善したものを自分のアプリに採用する
- 4) サジェストワードが検索需要に影響している
良く検索されるワードを知る事で需要が分かるのでその関連アプリやオリジナルアプリとして掛け合わせのアイデアに繋がる

テーマ（競合調査・リサーチ）

5) Google Playの検索結果や競合調査も行う

Google Playにしかないもので売れているものはiPhoneでも需要があるはずなので参考にしオリジナルアイデアを入れてリリースする

6) 検索調査サイトを使う

単純なライバル調査から、ASO調査やキーワード調査が出来るツールを使いKEI数値の高いものを使用しアプリのテーマの参考にする。

7) サジェストワードをキーワードツールで検索する

サジェストワード(関連検索ワード)でどんなプリがあるのかを調べたり、自分でも取り入れられるアイデアを参考に出来る。自分で思いつかない意外な組み合わせも見つかるので重要。

アイデア（アプリのテーマやコツ）

8) そのままマネをしたアイデアはNG

同じテーマで作ると競合と被る上、わざわざ敵を作る戦略になるので、なるべく競合が少なく、需要が高い場所を見つけるのが重要。

9) アイデアのコツは〇〇×〇〇という掛け合わせが簡単

調べた需要の高いもので他人がやっていないアイデア同士を掛け合わせると自分独自のオリジナルコンテンツになる。

10) 紙媒体の書籍やコンビニ本などが意外と参考になる

書籍やコンビニ本はアプリ化されていないものが多く、コンビニ店頭で並んでいる本は売れ筋なので一般需要が高いので◎。

アイデア（アプリのテーマやコツ）

1 1) アフィリエイトを勉強するとテーマに強くなる
商品を紹介・売るのが強くなるので売れるジャンルを学べる。

1 2) アフィリエイトサイトにある広告が参考になる
広告は基本的に売れるものを掲載するのでそのテーマでアプリ競合や
需要を調べライバルが少ない場合参入できる余地がある。

1 3) 人困っている事（悩み系）＝サービスになる
大ジャンル・小ジャンルに関わらず困っている事は全てサービス（ア
プリ化）のアイデアに繋がるので、まずは人が大きく、または密かに
悩んでいる事を探してみるとヒントになります。

機能編 (テンプレート)

14) 世の中にあるテンプレートアプリを調べてみる
漫画アプリや動画サイトのアプリ、投稿型のアプリなどテンプレート形式のアプリは多く中身の差で差別化している事が分かる。

15) テンプレートアプリはカスタマイズがやり易い
既にクラッシュ対策(ちゃんと使える様に)されている状態でカスタムしていけるので工数が少なく、ちょっと変えるだけでもオリジナルアプリにする事が出来る。

16) 色々なジャンルでテンプレートを持っておくと便利
外観や機能は個別に分けてウィジェットの様にアプリによって使い分け出来るようにしておくと効率が良い。

機能編 (テンプレート)

17) テンプレートアプリを使うと横展開しやすい
調査や検証、関連アプリを出す時にテンプレート形式だと開発工数が少なく効率が良い、外注する際にも費用が安く開発できる。

18) テンプレートを使うとトレンド系アプリが作り易い
世間的に今この瞬間にバズっているワードのアプリを素早く作る事が出来る。

19) iPhoneアプリはデザインを重視する
テンプレートなので多機能ではないが、iPhoneアプリは機能の多さより使いやすさ、見た目、便利さが重要。テンプレートを限界までシンプルかつカッコよく、可愛く、独自性にできると成果が大きく変わる。

UI編（ユーザーインターフェース）

20) とにかく徹底的に使いやすさを重視する
ターゲットに合わせたデザインに変更する。高齢者向けなら文字を大きくするとか、子供向けならボタンを押しやすくするとか。

21) UI対策はアプリを更新しながら何度も繰り返して育てる
レビューやアンケートで意見を取り入れながら完成形を目指す。

22) ポップアップ一つでもこだわって作る
一つ一つのこだわりが集まると開発者の特徴が全体的なイメージ統一されアプリがブランド化します。

23) ボタン配置は押しやすい位置にしたり各所にこだわる
親指で押しやすいボタンが操作感を快適にする。

UI編（ユーザーインターフェース）

24) コンテンツを詰め込み過ぎない
1画面に操作できる項目を入れ過ぎず、ページを分けて分かり易く。

25) 操作を軽く出来るように意識する
画像や音声など読み込みなど少しでも軽くなる様に工夫する。

26) テキストの文章を統一化させる
外注やAIでテキスト作成したり自分で書いた文章の言い回しなどがバラバラだったり、無駄な文章や句読点、独特な表現は敬遠される。

27) デザインにこだわったアプリを意識する
シンプルでもまとまっているものや統一感があるものが良い。

CS編（カスタマー・サポート、サービス）

28) レビューに丁寧に返信する

レビューは期待の表れなので感謝して返信しよう。

29) レビューは的外れでも評価が変わる事もある

自分の対応次第で★評価が変わり、順位が上がる事があるので、喧嘩したり、反論、論破せず丁寧にアプリの説明をしよう。

30) レビュー返信は当人だけでなく他の人に向けても書く

もう二度と使わないと言われても、他の人がそのレビューを読んでいると思って返信を書きましょう。

■さいごに

ここまでお付き合い頂きありがとうございました。
IOSアプリの開発は少しハードルが高い作業になります。
配布しているプロジェクトの仕様は最適化済みなので伸びやすくなっていますが、
研究し工夫が必要となります。

iPhoneアプリのマニュアルは出回っていませんので本書は大変貴重な資料となります。
ここまで手順通り、簡単に省略されたマニュアルは他にはありません。
本来この何倍も時間と労力がかかる作業なので結果的にはプロの作業よりも完了は早いです。
このマニュアルを利用し開発スピードを倍増させる事が可能となりますので、
どんどんアプリを作ってみてください。

最後までご視聴ありがとうございました。

本マニュアル・アプリの開発方法などで
ご相談・ご質問などありましたら
お気軽にメッセージ頂ければと思います。

最後までご覧いただきありがとうございます。